



『近代思想』
右 創刊号(1912年10月)
左 復活号(1915年10月)



『労働運動』創刊号(1919年10月)



『平民新聞』創刊号(1914年10月)

東京大学文学部
国文学研究資料館
蔵書

目次

I 思索と方法

『生の闘争』自序	三
『正義を求める心』自序	五
思索人	八
動物人・機械人・思索人	
奴隷根性論	三
征服の事実	二
生の拡充	元
鎖工場	三七
イグノラント	四七
生の創造	五三
知識の手淫	六三
『近代思想』廃刊の辞	

正気の狂人	六五
賭博本能論	七五
秩序紊乱	八四
野蛮人	八七
新事実の獲得	九〇
自我の棄脱	九四
事実と解釈	九六
植民地の叛逆ⅡインドⅡ安南Ⅱ台湾Ⅱ朝鮮	
個人的思索	一〇九
僕等の自負	一一五
正義を求める心	一二七
国泥棒の見本	一三五
直接行動論	一三〇
政府の道具共	一三五
靈魂のための戦士	一三八

II 評論と書評

茅原華山を笑う	一七
再び茅原華山を笑う	一八五
茅原華山論	一九八
二種の個人的自由	二〇五
福田博士の新社会論を読む	
飛行術的言論家	二四
盲の手引する盲	二九
吉野博士の民主主義墮落論	
国家学者R	三三
民族国家主義の虚偽	三九
革命的サンシカリズムの研究	三五〇
新文学博士米田庄太郎氏を論ず	
米田博士へ	三五八

怠業と勤業	二六〇
Syndicalism の研究	二六四
『現代八面鋒』(久津見蕨村著)	二六七
『社会主義倫理学』	二六九
『現代思想講話』(大住嘯風著)	二七三
『大日本閨門史』(白柳秀湖著)	二七五
『オイケン哲学の批難』(古谷栄一著)	二七七
『新しい英字』	二七九

解説 (大沢正道)	二八七
-----------	-----

凡例

- 引用文——「……」
- 引用内引用文——『……』
- 新聞・雑誌・書籍名『……』
- 論文名——「……」
- 原典その他から起し得なかつた伏字の文章あるいは単語で、推定または翻訳で復原した箇所——「……」
- 推定その他では復原し得なかつた箇所は、6ポイント活字の割註で削除字数を明示した。